

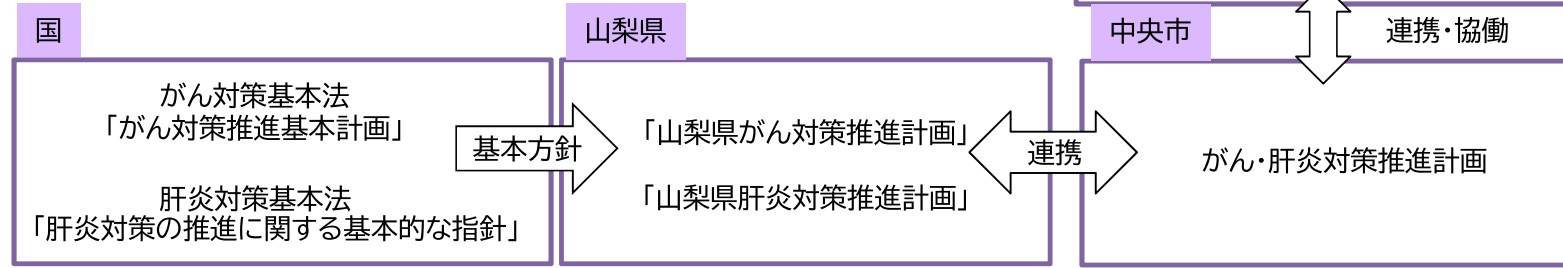
# 中央市 がん・肝炎対策推進計画の概要

## 計画の趣旨

日本人の死亡原因の第1位はがんであり、本市でも死亡総数の概ね2割を占めている。その原因は加齢による発症リスクが高まるためとされ、今後高齢化が進むにつれ、がん対策の重要性が増していくと見込まれる。特に山梨県は肝がんによる死亡率が全国平均よりも高く、その主な原因であるC型肝炎の感染率も高い状況であり、肝炎対策も重要な課題となっている。

これまで本市では、平成25年に「第1次がん対策推進計画 中央」を策定し、5年ごとに見直しを行い、がん対策、肝炎対策を推進してきた。今後においても市民の皆さまが、いつまでも健康で元気に暮らせることを目指し、「中央市がん・肝炎対策推進計画」を策定した。

## 計画の位置付け



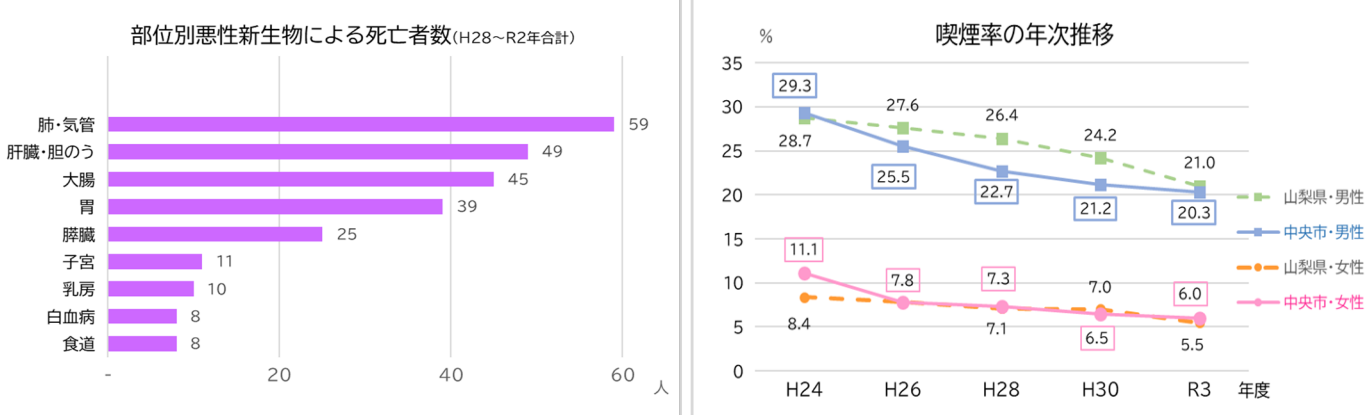
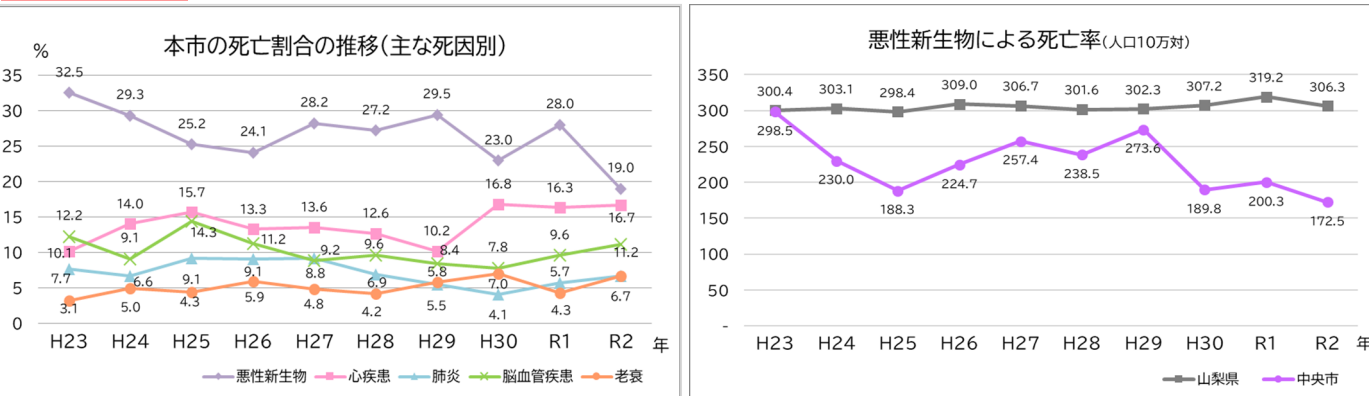
## 計画の期間

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間

## 全体目標

がん患者を含めた市民が、がんを知り、がんの克服を目指す

## 地域の状況



がん検診受診率	H28年度	R2年度
胃がん	7.1%	→ 11.3%
肺がん	25.2%	→ 18.5%
大腸がん	24.3%	→ 18.9%
肝がん	26.2%	→ 26.0%※1
子宮がん	15.7%	→ 20.2%
乳がん	30.1%	→ 40.9%

※1:R1年度の数値

人間ドック・総合健診における肝炎ウイルス陽性者数 単位:人					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受診者	2,442	2,480	2,416	2,453	2,164
B型肝炎陽性者	15	17	9	12	22
C型肝炎陽性者	5	6	2	1	3

本市の死因の第1位は山梨県と同様で悪性新生物(がん)となっており、死亡総数の約2割となっている。死亡者数は肺がん(気管含む)が最も多く、次いで肝臓・胆のうがん、大腸がん、胃がんの順に多い。喫煙率は減少傾向である。がん検診受診率は県平均よりも高いが、胃がん検診においては県平均より低い。がんは死亡者数の上位を占めているため、早期発見・早期治療のためにも受診率向上に向けた取り組みが必要。

がん検診精密検査受診率	H28年度	R1年度
胃がん	84.3%	→ 85.5%
肺がん	95.6%	→ 91.2%
大腸がん	79.2%	→ 61.8%
肝がん	84.3%	→ 85.2%
子宮がん	76.9%	→ 77.3%
乳がん	97.7%	→ 93.5%

## ライフステージごとの重点目標と具体的目標値

### 乳幼児期

めざす姿  
乳幼児期を明るく健やかに過ごすことができ、地域の中で安心して育児を楽しむことができる

### 重点目標

- B型肝炎ワクチン接種の推進
- 受動喫煙の防止

### 具体的目標値

	現状	目標値(R9年度)
I) B型肝炎ワクチン接種率	96.0%	→ 97%
II) 3歳児健診時の母親の喫煙率	5.0%	→ 4%
父親の喫煙率	38.1%	→ 35%

### 学童・思春期

めざす姿  
良好な生活習慣の形成とともに、自分を大切に、自立していく準備ができる

### 重点目標

- 子宮頸がんワクチン接種の推進
- たばこの害の普及啓発、受動喫煙の防止
- がん教育・普及啓発

### 具体的目標値

	現状	目標値(R9年度)
I) 子宮頸がんワクチン接種率(3回)	1.8%	→ 60%

### 青壮年期・高齢期

めざす姿  
自分自身の健康への配慮ができる生活が送れる  
高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生きることができる

### 重点目標

- がん予防の普及啓発
- がんの早期発見、早期治療

### 具体的目標値

	現状 (R2年度)	目標値(R9年度)
I) 喫煙率	11.1%	→ 10%
II) がん検診受診率		
胃がん検診	11.3%	→ 13%
肺がん検診	18.5%	→ 25%
大腸がん検診	18.9%	→ 24%
肝がん検診	26.0%	→ 30%
子宮がん検診	20.2%	→ 22%
乳がん検診	40.9%	→ 41%
III) がん検診精密検査受診率 (R1年度)		
胃がん検診	85.5%	→ 90%
肺がん検診	91.2%	→ 92%
大腸がん検診	61.8%	→ 65%
肝がん検診	85.2%	→ 90%
子宮がん検診	77.3%	→ 80%
乳がん検診	93.5%	→ 94%